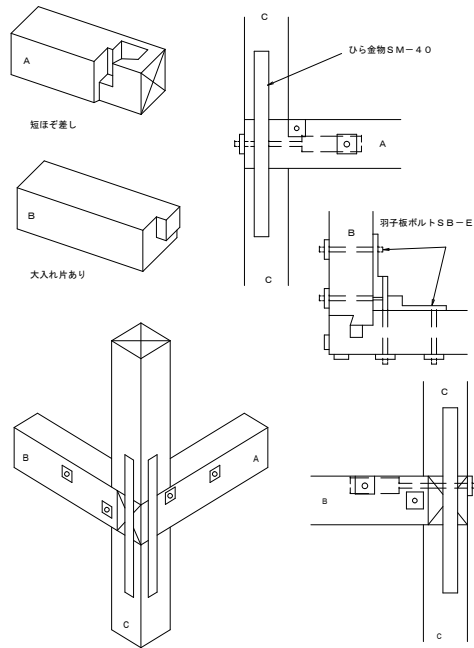
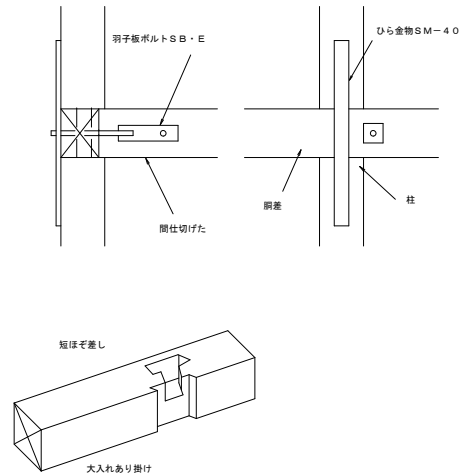


柱・梁・筋かい・アンカー等詳細図

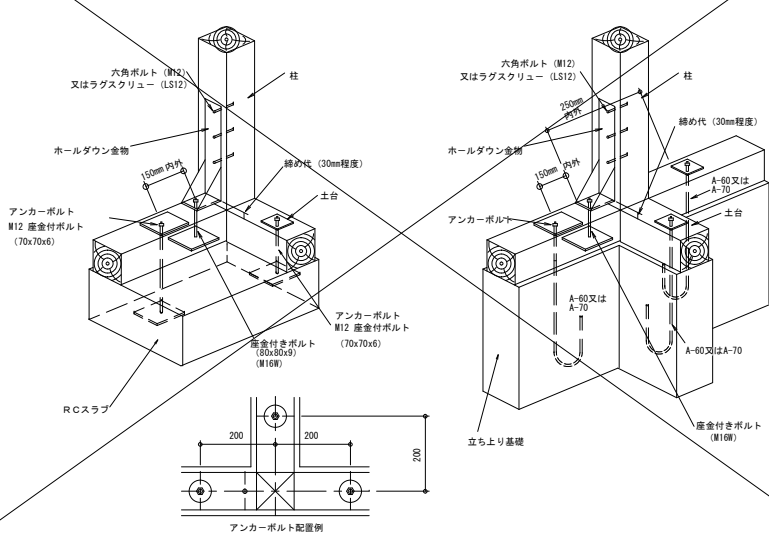
すみ柱、出すみ（直交する鋼差がほぼ同寸でかつ同一高さで取合う場合）



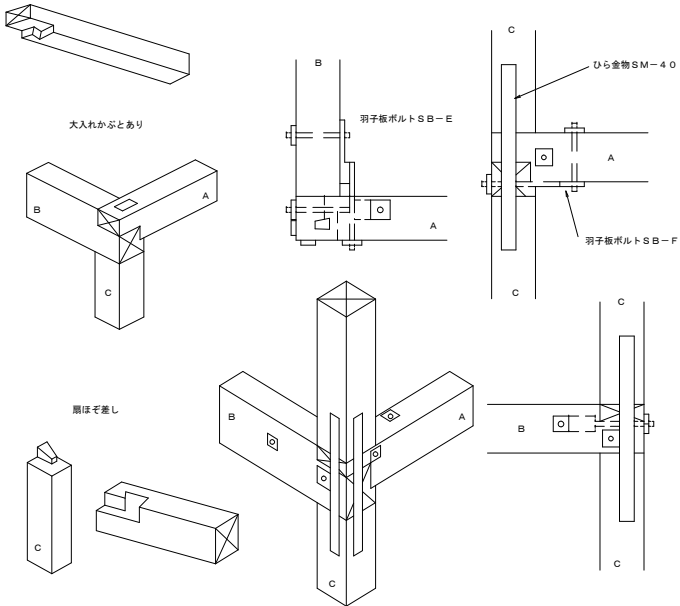
すみ柱に準ずる柱
（鋼差と同等程度の間仕切桁が鋼差と直交して取合う場合）



座金付きボルト（M16W）を用いて土台と柱を緊結する場合



すみ柱、出すみ（直交する鋼差の成が異り段違いに取合う場合）



特記なき限り（各伏図、軸組図共通）

土 台 桧：135x135、135x120、135x105 A C Q等注入処理材
柱 檜：135x135、135x105、120x120、120x105
檜：240x240、300φ、150φ
間 柱 杉：30x135、30x120

梁の表記

米 松：補足特記仕様書3 S-O8参照

梁の幅が書いていない幅は120mmとする。

梁のせいが書いていないせいは120mmとする。

耐力壁の表記

△ 筋 違：30x90

▲ 筋 違：30x90 タスキ

柱頭・柱脚金物の表記 ○/○=柱頭金物/柱脚金物

CP かど金物（CP・L及びCP・T同等認定品）

VP かど金物（VP同等認定品）

SB 羽子板ボルト（SB-E同等認定品）

・特記なき接合部は「かすがい（C）同等認定品」以上の金物を設置する。

・筋違端部は「筋違プレート（BP-2）同等認定品」で接合する。

凡 例

・：アンカーボルト M12 L=500

A：腰掛け蟻、大入れ蟻掛け+羽子板ボルト（又は短冊金物）

B：腰掛け蟻、大入れ蟻掛け+羽子板ボルト（又は短冊金物）×2

NOTE

株式会社アイマーク一級建築士事務所
一級建築士事務所登録：第12842号
一級建築士大臣登録：第193494号
国本 正和

SCALE

DATE H28.8

JOB NAME

平成28年度 表丹沢野外活動センター普の生活学習館（仮称）建設工事

TITLE

アンカー等詳細図